

(福)桜友会

関市・高齢者介護

従業員数／男性81名 女性221名 計302名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①事業所内保育施設の設置
- ②育児・介護による短時間勤務と勤務免除制度の導入
- ③時間単位の年休取得が可能で休みやすい環境実現



ほほえみ保育園は、土日祝日も利用できる。半日単位で利用する職員も多い。

子ども、高齢者の笑顔が見られ双方に良い刺激になりとても嬉しく安心感がある。高齢者と触れ合うこともでき、世代を越えた交流でも実施している。

ほほえみ保育園は開所以来、地

域にも開放されており、月極利用は1万5千円、スポット（1日単位）利用は1日千円と、誰でも職員と同額で利用できる。現在、登録園児39人のうち7人が地域からの利用者だ。高井澄恵施設長は「今は働き続けたいと望む女性が多く、社会全体で子どもを育てる仕組みが必要。保育園が地域子育ての一助となれば」と、子育て支援を通じてさらなる地域貢献を目指す。

職員の7割が女性という桜友会では、以前より出産・育児による退職が大きな課題となっていた。そこでアンケートを実施し、要望が多かった事業所内保育施設「ほほえみ保育園」を2013年に設置。

すると、子どもを預かってもらえることで、働く時間帯が広がり、出産・育児を理由とした退職者が半減した。育休後に子育て世代が復帰できることは、他の職員からも歓迎の声が多く、協力体制も万全。さらに「保育園があるなら」と求職者も増加し、人材の維持だけでなく、確保も実現した。保育園を利用する江島彩香さんは「同じ建物内に子どもがいることで大きな安心感がある。高齢者と触れ合うこともでき、世代を超えた交流で



「他の職員も子どもを気にかけてくれてありがたい」と話す介護職員の江島彩香さんは「ほほえみ保育園」に子どもを預ける。

地域にも開けた事業所内保育施設を設置